

2020年9月28日

文部科学大臣
萩生田 光一 殿

(公財) 日本ラグビーフットボール協会
会長 森 重隆

外苑地区再開発に伴う秩父宮ラグビー場の移転整備について(要望)

平素より、弊協会活動にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、政府・開催自治体を始めとして関係する皆さまからの厚いご支援を頂き、大成功裡に終わりました、「ラグビーワールドカップ 2019 日本大会」から早くも1年が経とうとしております。

今年度に入りましてからは、新型コロナウイルスの感染拡大の中、他競技と同様に大きな影響を受けておりますが、しっかり足元を見つめ、地道に先を見据えて将来に向けて進んで参りたいと考えております。

このような環境において、昨年度より開催頂いております「ラグビー振興に関する関係者会議」にて、外苑地区再開発に伴う秩父宮ラグビー場の移転整備について私共も議論に参画させて頂いておりますことは、大変有難いと考えております。今後も、競技の普及・強化、或いは、ラグビーミュージアムの設置など、ラグビーワールドカップ日本大会でのレガシーを継承し、ラグビー競技についてのより深いご理解を皆さまから頂き、将来、再度、ラグビーワールドカップを招致しうるような環境を目指していく所存であります。

茲に、先日の「ラグビー振興に関する関係者会議」における議論も踏まえ、弊協会より以下のとおり、重ねて要望させていただきます。関係する皆さまのご高配を賜りますよう、お願い申し上げます。

- ・弊協会としては、東京都が「神宮外苑地区地区計画」(2013年6月策定)及び「東京2020大会後の神宮外苑地区のまちづくり指針」(2018年11月策定)で示している、世界に誇れるスポーツクラスターの形成に協力していく所存であり、本事業に当たっては、可能な限り競技の継続に配慮した連鎖的な建て替えを前提とした整備計画を策定頂きたい。
- ・秩父宮ラグビー場の歴史的背景を踏まえ、「秩父宮」の名称はそのまま引き継ぎ、また、「ラグビーの聖地」としてのレガシーを次世代に引き継ぐため、ラグビー専用スタジアムとして整備して頂きたい。
- ・スポーツ庁が示している「スタジアム・アリーナ指針」(2016年11月策定)を踏まえ、ラグビー専用スタジアムとしての機能を維持しつつ、多目的な用途が可能となるべく、全天候型の施設として整備頂きたい。
- ・スタジアムの機能については、ラグビーの世界統括団体である World Rugby が求める国際大会の基準に合致する施設であるとともに、諸室、ミュージアム等の附属の施設等についても、弊協会とも密接な連携のもと検討いただくとともに、弊協会が早期の段階からスタジアム運営の枠組みに関与できるようご配慮頂きたい。

以上